

意見交換会の概要

【開催趣旨】

- 令和2年7月、筑後川流域では記録的な豪雨により各地で浸水被害が発生。下釜ダムでは、「緊急放流」を実施。
- 幸い、松原ダムが緊急放流とならなかったため、松原ダムの直下流では河川氾濫による浸水被害は発生していない。
- 地球温暖化に伴う洪水の激甚化、計画規模を超える洪水の発生等、水害のリスクが大きく高まっている。
- このような状況の中、水害から生命や財産を守っていくため、地域と学識者、河川管理者、ダム管理者等が一体となった、「松原ダム・下釜ダム・大山ダムとともに水害に強い地域づくりを考える意見交換会」を令和3年度より設立。
- 第2回は、ダム下流の河川環境の現状や課題、第3回は、避難行動に繋げるための様々な取組、第4回は、緊急放流時のサイレンや情報提供のあり方、第5回も、緊急放流時のサイレンや情報提供のあり方について意見交換を行った。

■これまでの開催経緯

令和4年 3月30日

第1回 意見交換会 議事

- ・最近の九州における気候変動状況等について
- ・避難につながる取り組みについて
- ・次回開催について

令和4年12月19日

第2回 意見交換会 議事

- ・ダム下流の河川環境について
- ・地域防災力の向上について

令和5年10月10日

第3回 意見交換会 議事

- ・令和5年7月洪水について
- ・避難行動に繋げるために
- ・自治会での防災に関する取組状況について

令和6年 6月 3日

第4回 意見交換会 議事

- ・サイレン吹鳴訓練について
- ・情報提供のあり方について

令和7年 5月23日

第5回 意見交換会

- ・サイレン吹鳴訓練について
- ・情報提供のあり方について

令和8年10月23日

第6回 意見交換会(今回)



第5回 開催状況

これまでの成果

成果

意見交換会発足

行政からの情報提供

第1回
～
第3回

ダムの緊急放流について、
下流住民の理解を得たい
↳ 住民の理解・協力

意見交換会発足

緊急放流の周知

住民の意見の反映

第4回
～
第5回

緊急放流のサイレンを聞きたい

緊急放流のサイレンを全域でやるべき

サイレンが聞こえない

サイレンの訓練の
実施（一部）

サイレンの訓練の
実施（全域）

防災ラジオの活用

避難の課題共有

課題に対する対応

国・県・市の連携
地域特性を踏まえた訓練

第6回～

大分大学の
学生の参加
国・県・市
の連携

避難の方法やタイミング、
または避難の課題を知ってほしい

住民・国・県・市で意見交換

住民の皆さんと
図上訓練を実施
(タイムラインを作成)

避難の訓練

緊急放流の理解

実効性のある訓練
継続的な意見交換

緊急放流を知る
なぜ避難が必要か

確実な避難

- ・ 今後、避難に関する実効性のある訓練へ
 - ・ 地域の特性（土砂災害にも注意が必要）
 - ・ 地域を基点とした横断的な意見交換
- ⇒ 継続してやっていくためにどうすればいいか